

若年者・地域向け脱炭素普及 啓発事業について

令和7年1月18日

脱炭素戦略本部室家庭グループ



私たち一人ひとりの行動が、
未来につながる。

SDGs 未来都市 神奈川県

7

エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



9

産業と技術革新の
基盤をつくろう



11

住み続けられる
まちづくりを



13

気候変動に
具体的な対策を



若年者・地域向け脱炭素普及啓発事業

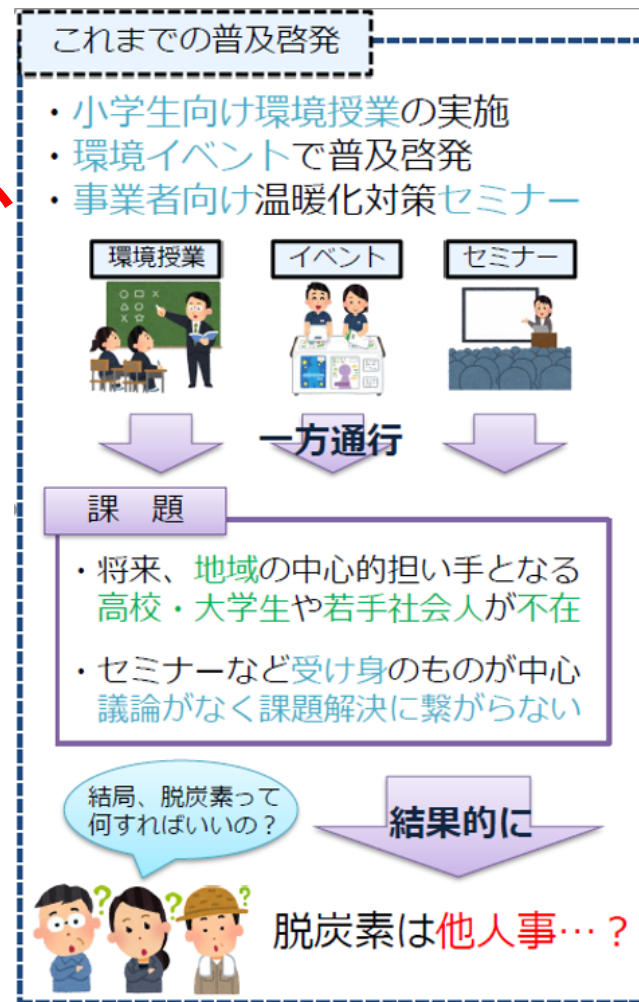
事業の背景について

➤ 目 的

・ 2050 年脱炭素社会の実現に向けて、若年者の脱炭素型ライフスタイルへの転換を図るとともに、地域主体による地域脱炭素化の促進を図るなど、脱炭素に関する普及啓発を強化する。

➤ これまでの課題

・ 将来の中心的担い手となる高校生等への環境教育等の取組が少ない。
・ セミナーなど受け身のものが中心で議論がなく課題解決に繋がらない。



若年者・地域向け脱炭素普及啓発事業

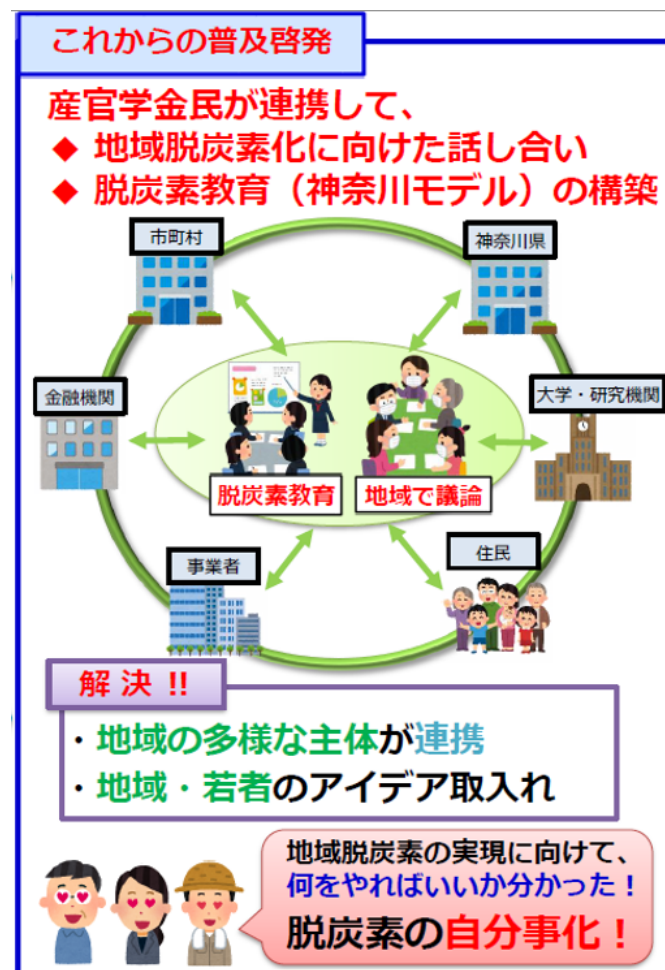
事業の概要について

➤ 高校生向け脱炭素教育

- ・ 県立高校 5 校を対象に、2コマ
～10コマまでの脱炭素教育を実施
(令和5年度は3校で実施)

➤ 地域脱炭素化に向けた 地域版ワークショップ

- ・ 特色の異なる地域3か所で
ワークショップを開催(支援)



若年者・地域向け脱炭素普及啓発事業

令和5年度の実施スケジュール

	県立希望ヶ丘高校	県立横浜瀬谷高校	県立平塚工科高校
実施スケジュール	・ 10月26日～12月4日 知識習得：4コマ シナリオ探究：6コマ	・ 11月6日～11月17日 知識習得：4コマ 事例探究：8コマ	・ 9月27日～12月21日 知識習得：6コマ 現地見学：3コマ（実習） 探究、発表：4コマ
対 象	1年生2クラス	1年生全クラス	環境化学系コース等
特 徴	・ シナリオ探究コース ・ 国立環境研究所の協力で実施	・ 事例探究コース ・ 横浜市地球温暖化防止活動推進協議会、IGESの協力のもと、6事例を学ぶ	・ 現地見学（Fujisawaサステイナブル・スマートタウン）

- ①知識習得編と②探求編の2つのパートで構成
- 探求編では、3校それぞれ別の内容で実施
- 教育プログラムはパッケージ化して、高校にて広く活用されるための取組を進めます